# 五味天満宮と石碑群

五味天満宮は土佐清水北部の緑豊かな下ノ加江地区に位置しています。この地区には低地が広がっているため、長い間特に農業に適した土地と考えられてきました。森が生い茂る神社の境内にあるいくつかの石碑は、参拝者にこの地域が経験してきた自然災害について思い出させるものです。記念石碑の 1 つは、1854 年の南海地震の後に建てられたものです。南海地震はマグニチュード 8.4 で、壊滅的な津波を引き起こしました。また別の記念石碑は、大正時代（1912–1926）に土佐清水全域を襲ったひどい洪水を記念して建てられました。これらの石碑は、災害に見舞われても地元住民が力強く復興してきたことの証であり、また土地を守り自らの経験を次の世代に伝えて防災を呼びかけようという地元住民の決意の表れでもあります。ここ数世紀の間に、この地域の他の多くの集落でも同様の石碑群が建てられています。